

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成 19年 6月 2日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0173600479		
法人名	社会福祉法人 厚真町社会福祉協議会		
事業所名	厚真町高齢者グループホーム「やわらぎ」		
所在地	勇払郡厚真町字本郷236 - 6 (電話) 0145-26-7336		
評価機関名	社会福祉法人北海道社会福祉協議会		
所在地	札幌市中央区北2条7丁目1		
訪問調査日	平成19年5月23日	評価確定日	平成19年7月5日

## 【情報提供票より】(平成19年5月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 13年 1月 16日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	12 人	常勤 6人, 非常勤 6人, 常勤換算 6人	

### (2) 建物概要

建物構造	木造平屋 造り	
	1 階建ての	1 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	12,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	300 円
	夕食	300 円	おやつ	100 円
	または1日当たり		900 円	

### (4) 利用者の概要(5月23日現在)

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名
要介護1	3	要介護2	3		
要介護3	1	要介護4	2		
要介護5	0	要支援2	0		
年齢	平均 87.7 歳	最低	81 歳	最高	95 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	あつまクリニック・厚真歯科医院
---------	-----------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は平成14年4月に厚真町の委託を受け、厚真町社会福祉協議会が運営を行っている。ホームの全利用者が厚真町の出身であり、長年農業に携わってきた。事業所には広い菜園畑と大きな温室があり、慣れ親しんだ生活様式が維持されるよう地域で継続する支援を行っている。また、夏祭り・盆踊り・花火大会など季節毎の行事に近隣住民も参加しており、地域との交流に積極的な取り組みがなされている。さらに、週に1度のボランティア訪問があったり、当事業所の畑で利用者と保育園児が共に芋掘りをするなど、人と触れ合う事を大切に支援を行っている。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価での改善課題を踏まえ、包丁・薬品・洗剤など注意の必要な物品は、夜間は戸棚へ収納し安全が図られるようになっていた。また、利用者の「権利・義務」の掲示場所が見やすくなっていた。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>運営者・管理者が全職員に評価の意義や目的を説明し、会議で話し合っている。自己評価を全職員で項目ごとに点検し、継続的に取り組みサービスの質の向上に努めている。外部評価に関しても、全職員が受け入れており、評価を見直し意識を一つにして向上に取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>当事業所の運営推進会議は現在準備段階である。今後、組織化され運営推進会議が開催されて地域に開かれたサービスとしての質の確保を図るよう意見・助言等を受け、改善に向けて取り組む事が期待される。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>苦情相談窓口と担当者を設けており、家族の苦情・相談にいつでも対応できるような配慮がなされている。今後、事業所内の見やすい箇所に苦情相談窓口や外部苦情申し立て公的機関名などを明示するなどの工夫をすることが期待される。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>職員の積極的な働きかけが実り、町行事の田舎祭り・文化祭・町内会行事に利用者も参加しており地域との交流が深められている。また、盆踊り・花火大会・そうめん流しなどの事業所の行事には、地域住民も参加するなど交流が盛んである。</p>

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念の共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者の生活歴を尊重し、住み慣れた地域での開放的な暮らしを支えるサービスを提供することを掲げた理念を明示している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員一人ひとりが日々理念を確認し、サービスの実践に努めている。また、ミーティング時に職員間で理念について話し合い、共有化を図っている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町行事の田舎祭り・文化祭に利用者も参加したり、保育園児と利用者がホームの畑で種芋の植付けを行うなど、地域との交流が積極的に図られている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義や目的について、管理者が全職員に説明し会議で話し合っている。また、全職員で自己評価を項目ごとに確認し、サービスの質を確保することに努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>現在、運営推進会議は組織化されていないが、設立に向けて準備中である。</p>	○	<p>今後、運営推進会議の開催により、地域に開かれたサービスの質の確保と向上を図ることが期待される。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営に関しては、常に町行政担当者と協議する機会を作り、密なる関係を築いている。</p>		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>来訪時に、家族に利用者の生活の様子を報告している。また、ホーム便りにて日常の暮らしぶりを伝えたり電話にて受診時の結果等を報告している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族の意見・苦情に対して、相談窓口と担当がいつでも対応できるような配慮がなされている。また、家族から出された意見・要望はミーティングにて検討され、反映されている。</p>	○	<p>今後は、運営推進会議を組織化し開催することにより、家族の意見・苦情等を外部者へ表せる機会を作り、サービス向上に反映させる取り組みを行う事が期待される。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の配置は出来る限り固定化するように努めている。また、職員が代わる場合は、別の職員が間に入り信頼関係を築けるような配慮がなされている。また、家族への連絡も密に取っている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>専門知識や技術に関する研修を定期的実施しており、全職員が積極的に参加している。外部の研修会や施設見学等にも参加し、その後、報告会を実施して共有を図っている。さらに、必要な文献・資料を購入し質の向上に努めている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>当事業所に隣接する他の2施設の利用者と日常的交流と夏祭り等の行事開催を通し、交流の結果をサービスの質の向上に繋げている。また、近郊施設の職員の相互訪問による交流も図られている。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>当事業所に隣接する他事業所の利用者も含め、日頃から地域住民と管理者・職員の関係は密に取れており、当事業所の運営に関しては地域に浸透している。また、利用者・家族は見学や話し合いを通して十分納得した上での入居となっている。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>畑仕事や調理・裁縫等、利用者が得意な事を職員が教えてもらうなど、一緒に暮らしお互いを支えあう関係づくりに努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1.一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者の思い・希望・意向の把握に努め、業務日誌に記録し、連絡会議やミーティング等で話し合い、ケアに活かしている。</p>		
<b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者個別の生活歴・個人シート・毎日のカンファレンス記録等を活用し、さらに利用者本人や家族の希望・意向を聞きながら全職員で話し合い、介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月に1度見直しを行っており、日々利用者本人・家族の要望を基に現状に即した介護計画作成の準備を行っている。また、緊急の場合は引継ぎ事項に記載し、そのつど見直しを行っている。</p>		
<b>3.多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>当法人系列の事業所と連携を取りながら、状況に応じた柔軟な支援を行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>利用者・家族の希望に沿って、かかりつけ医に定期的に受診している。受診・通院の際には、職員が付き添っている。また、受診結果については、電話にて家族に報告している。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>利用者が重度化した場合は、利用者・家族・かかりつけ医と連絡を取り、対応の共有化を図っている。また、状況に応じて医師の指示を受け看護師を配備したり、病院を紹介してもらったりしている。</p>		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>個人情報保護に関するマニュアルが整備されており、取り扱いについて会議・ミーティングにて話し合っている。また、職員は利用者に対して誇りを傷つけたり、プライバシーを損ねることのないような対応を心掛けている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>日々の暮らしにおいて、職員側の決まりごとを設けず、利用者一人ひとりのペースを保ち、個別に合った柔軟な支援を行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食堂は天井が高く、天窓からも自然光が差し込み、「のんびり・ゆっくり」と食事を楽しめる雰囲気づくりがなされている。また、職員も利用者と同じ席に付き、一緒に食事を摂っている。食事の後片付け等に関しては、利用者の力量に応じて職員と一緒にしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者一人ひとりの希望やタイミングに合わせた入浴支援を行っている。また、入浴を嫌がる利用者には夕食後に入浴してもらうなど、柔軟な支援を実践している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	掃除や調理・畑仕事・大工仕事など、利用者一人ひとりの生活歴や得意な面を活かした場面作りの支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	温室や畑仕事・買い物・ドライブなど日常的に外出する支援を行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	全職員が鍵をかけないケアを徹底している。また、安全策としてセンサーとモニターを設置している。また、利用者が外出した場合は、しばらく見守り続けながら安全面に配慮している。さらに、警察署・消防署等にも理解と協力依頼をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	緊急時マニュアルが整備されている。また、消防署の協力の下、年に2回避難訓練を実施している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	業務日誌に一日の水分量を個別に記載し、水分確保に努めている。また、月に2回体重測定を行っており、体調を考慮しながら一人ひとりに合わせた食事の量に配慮している。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間には写真が掲示してあったり、鉢植が置かれている。また、天窓からは自然光が差し込み、蛍光灯の強さをその状況に応じて調節しており、快適な生活空間が作られている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、テレビ・ラジオ・家族の写真・仏壇等が持ち込まれ、その人らしい居室作りがなされており、本人が安心して暮らせるような空間が作られている。		

 は、重点項目。